

平成 1 0 年度試験研究成果

区分	指導	題名	粒剤のセルトレイ施用によるキャベツ害虫防除法		
<p>[要約]</p> <p>キャベツのセル成形苗に対して、育苗期後半（定植直前）にセルトレイ上で土壌施用剤を処理する方法は、従来の植穴処理法と比較して、株当たりの粒剤施用量が 1 g 以下と少なくなるため残効期間がやや短い、定植後 2 週間は茎葉散布が不要である。</p> <p>また、ベンフラカルブ粒剤の防除効果はコナガ、モンシロチョウおよびアブラムシ類に均等的に有効であるが、アセタミプリド粒剤の防除効果はアブラムシ類に対して優れるもののモンシロチョウにはやや劣る。</p>					
キーワード	セルトレイ施用	キャベツ	防除効果	生産環境部病害虫研究室 県北農業研究所営農技術研究室	

1 . 背景とねらい

夏まきキャベツにおいては、コナガ、モンシロチョウおよびアブラムシ類の防除のために、定植時の粒剤施用が必須である。これまでの防除マニュアルは、ポット苗の移植時に株当たり 2 g 施用する体系で組み立てられていたが、セル成形育苗が急速に普及し、従来の植穴施用に代わる簡易な粒剤施用法が求められている。

そこで、定植直前にセルトレイ上で各種粒剤を施用した場合の防除効果を検討するとともに、問題点を明らかにした。

2 . 技術の内容

(1) ベンフラカルブ粒剤（商品名：オンコル粒剤 5 ）、アセタミプリド粒剤（商品名：モスピラン粒剤）を 1 トレイ当たり 100g を目安に散粒した後、軽く散水して苗上に載っている粒剤を洗い落とし、薬剤を落ち着かせてから定植する。

(2) セルトレイ処理での各粒剤の効果適用表（0.25 ~ 0.5 g / 株施用の場合）

薬 剤 名	成分（%）	対 象 害 虫 名		
		コナガ	モンシロチョウ	アブラムシ類
オンコル粒剤 5	ベンフラカルブ（5.0）			
モスピラン粒剤	アセタミプリド（2.0）			

：優れる（残効14日間以上） ：有効（残効14日間） ：劣る（残効7日間）
ただし、残効期間はコナガ、モンシロチョウとも中齢幼虫が出現するまでの期間とした。

(3) 1 株当たり施用量が 0.25g 未満では、定植後の残効が 2 週間以下となるおそれがあるため、1 株当たり 0.25g 以上を維持するように散粒する。

3 . 指導上の留意事項

(1) セルトレイ周囲部の苗には中心部の苗より粒剤の施用量が少なくなる（表 1 ）ので、粒剤の散布むらが生じないように留意して処理する。

(2) 粒剤施用後の茎葉散布体系については、野菜・花き栽培指導指針を参照のこと。

(3) モスピラン粒剤は、葉の縁部のクロロシス（白化）が起こることがあるので、セルトレイ施用後はそのまま放置せず、直ちに定植する。

4 . 技術の適応地帯

県下全域

5 . 当該事項に係わる試験研究課題

生産環境 4 - 2 - (5) - ア 新農薬の効果検定と防除基準作成

6 . 参考文献・資料

(1) 平成 7 年度 東北農業試験研究成績概要集 - 虫害 -

(2) 平成 8 年度 東北農業試験研究成績概要集 - 虫害 -

(3) 平成 8 年度 モスピラン粒剤によるキャベツ害虫防除特別連絡試験成績

7. 試験結果の概要

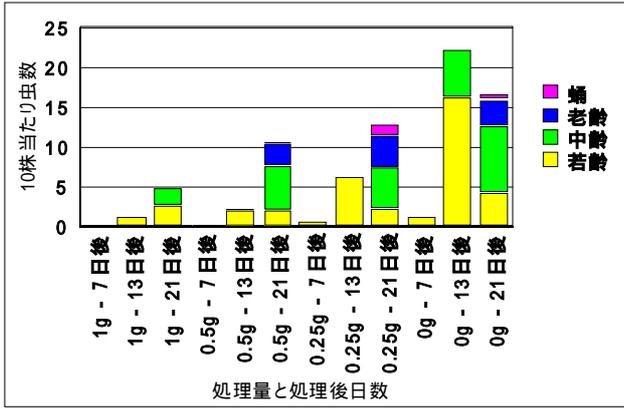


図1 オンコルセル施用によるコナガ防除効果 (H8, 岩手園試、定植日: 7月9日)

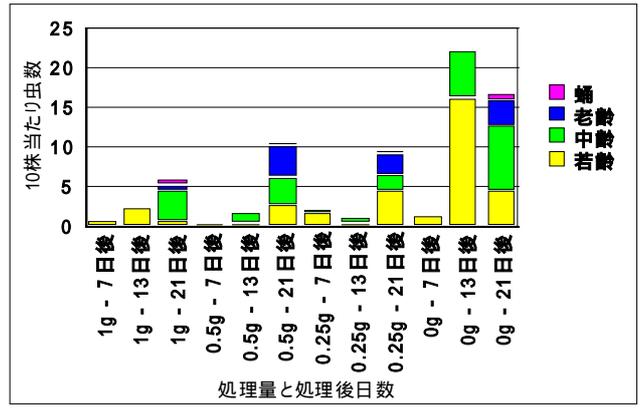


図2 モスピランセル施用によるコナガ防除効果 (H8, 岩手園試、定植日: 7月9日)

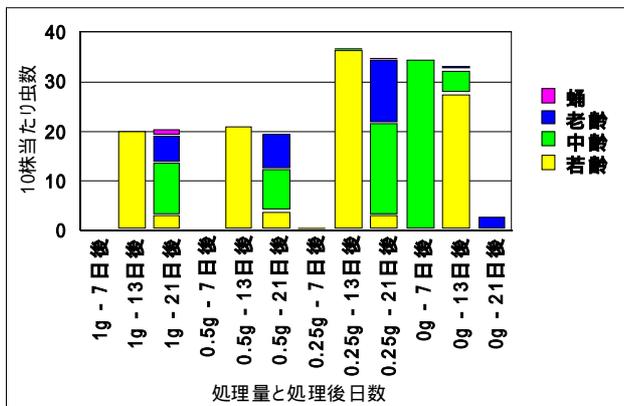


図3 オンコルセル施用によるモンシロチョウ防除効果 (H8, 岩手園試、定植日: 7月9日)

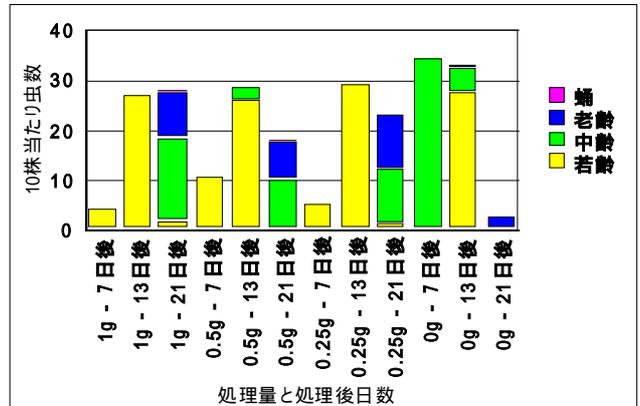


図4 モスピランセル施用によるモンシロチョウ防除効果 (H8, 岩手園試、定植日: 7月9日)

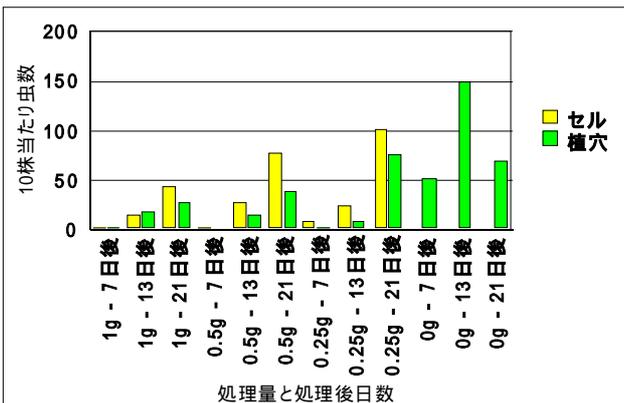


図5 オンコルセル施用によるアブラムシ防除効果 (H8, 岩手園試、定植日: 7月9日)

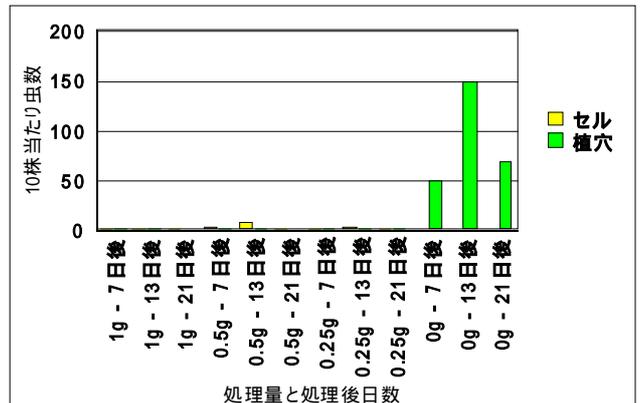


図6 モスピランセル施用によるアブラムシ防除効果 (H8, 岩手園試、定植日: 7月9日)

表1 200穴セルトレイでの株当たり実質施用量

(平成10年、県北農業研究所)

株当たり薬量	試験区 1			試験区 2		
	登載量	落下量	実質量	登載量	落下量	実質量
中央部の平均	1.55 ± 0.3g	0.93 ± 0.3g	0.62g	0.94 ± 0.3g	0.54 ± 0.2g	0.40g
最縁部の平均	0.64 ± 0.2g	0.31 ± 0.1g	0.33g	0.56 ± 0.1g	0.30 ± 0.2g	0.26g

注) 1トレイに400g処理し、苗を斜めにして落下した薬量を計測。各区10株の平均値。